
優しい時間

三月やよい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

優しい時間

【Nコード】

N3692B

【作者名】

三月やよい

【あらすじ】

一回だけ魔法を使えるみたい。えっと・・・何を願いしようかなあ？したいことは沢山あったはずなのにイザって時は浮かばない！（悩

（前書き）

この小説は「魔法小説」です。

「魔法小説」で検索しますと他の先生の素晴らしい作品を読むことが出来ます。

他の先生たちのしっかりとしたお話と較べるとかなり見劣りするかもしれませんが寛大な心で読んでいただけたら幸いです。

一回だけ魔法を使える星を手に入れた。

え？入手経路は秘密。

でも多分本物だと思うの。

一回だけ願いが叶う。

何でも叶うみたい。

世界征服でも？

えっと・・・何を願おう？

「綺麗になりたい！」

中学生くらいになるとみんな何だかファッションや美容に勤しんでる。

どこのマスカラがいいよ、とかどこの服が可愛いよとか。

マスカラ塗るのもネイルを塗るのも楽しいし着たい洋服のためにダイエツトするのも

可愛い髪型研究するのも楽しい。

すっごく綺麗になってみんなをびっくりさせて・・・

そうだなあアイドルなんかになっちゃったりして！

・・・でも・・・

でもママ譲りのタレ目がちな大きな目もパパ譲りの卵形の輪郭も嫌いじゃない。

すっごく美人ってワケじゃないけれど

大好きなパパとママから受け継いだ大事な大事な遺伝子。

そう思うと綺麗にはなりたいて思うけれど

魔法を使ってまで変えたいとは思わないかな？

「頭よくなりたい！」

勉強も難しくなってきたしなあ。

来年は3年生で高校受験が控えている。

今、中の上くらいの成績をトップにして「末は博士か大臣か」なんて言われてみたいっ！

TVの天才外科医みたいに法外な報酬を請求するけれど腕は神業的とか！！

でもちよつと待って！魔法で良くなった頭つてオトナになつてもずつとよいままなの？

しかも天才とバカは紙一重とか言われるし・・・

ああ！全国模試でよくトップテン入りしているD組の内田くんも頭はいいけれど

ちよつと奇抜な行動していてみんなから不思議君呼ばわりされてる！！

そっか、やつぱり頭良くなつてもほどほどがいいのかな？

じゃあやつぱりお勉強するしかないの？いやゝっ（涙

「お金持ちになりたい！」

パパは普通の会社員。

今のおうちは東京郊外に5LDKの建て売り、小さな庭付き。

これって多分平均的な会社員？

そうだなあ・・・お金持ちになつてお姫様みたいに暮らしたいっ

すつごく大きなお部屋に住んでメイドさんに全部面倒見てもらつて・

・

お庭にプールとか！

すごい！そんな生活つてアラブの王様みたい？

お金持ちになったら私の部屋のクッション、

そろそろふかふかじゃなくなつてきちゃったから新しいの買つてもらつちやおうつと。

あ！でも昨日のドラマでは何十億つて遺産を巡つて家族が殺し合つていたなあ。

ママつてばそれを見て

「お金つてないと困るけれど有りすぎると不幸になるのねえ」
なんてリングを剥いてくれながら言っていたっけ。
そっか、じゃあお金は普通が実は一番かもしれない。

「世界征服」

え？世界つて征服して何かいいことあるの？

「不老不死」

どうせ不老になるならばもっとオトナになって綺麗なお姉さんにな
ってからがいいかなあ

そして不死って何か怖い。

この前友達に借りた漫画の主人公が不老不死の吸血鬼で何か不死に
ついて悩んでいたもん。

友達ともパパともママとも一緒にいらなくなっちゃうようなこと
願いたくないな。

「宝くじ当たりますように」

ってだからお金は違うしなあ

「彼氏が出来ますように」

好きな人……

あ、B組の黒沢くん格好良いけれど確か米沢さんと付き合っている
んだよなあ。

だったら米沢さんイイコだし悲しませたくないからいいや。

黒沢くんをすごく好きってワケじゃないし。

だって話したことないし（笑）

「魔法使いになりたい！」

ってお勉強必要なんだよね？

今世精一杯だから私には無理かも？

考えれば考えるほど何を願えばいいのか解らない！！！！

もうっ何でこう願うって難しいの！？

お願い・・・願う・・・あ、そういえば新年の初詣でもお願いしたっけ。

そっか。

それと同じだよね。

魔法を使いました。

お願いは「家族がみんなが健康で幸せになりますように」にしたの。対象人数が多くなっちゃっうとそれだけ効力が薄まるって

取り扱い説明書に書かれていたけれどよくわかんないけれどいいや。それが多分一番の願い。

「ただいまあ」

マイカー通勤しているパパがいつもより30分早く帰ってきたの。

「今日さ、いつも渋滞している道が空いていたんだよ。

運いいなあって思ってた。

で、ほら、ママとあずみが好きなタルトやさん。

いっつも駐車場いっぱいなのとこ！

あそこの横通った時にちょうど駐車場が空いたからほら、お土産」わあっ嬉しい！

メリーのフルーツタルト大好きっ

「すごい！売り切れてなかったの？」

私はいつも売り切れちゃってなかなか食べることができない
大好きなフルーツタルトを見て大興奮っ

「うん、ちょうど出来上がり時間に入れてね」

パパも何だか嬉しそう。

渋滞を運転していつも大変みたいだからたまに空いていると嬉しいみたい。

「おかえりなさい。じゃあご飯にしましょう。」

今日ね、ブリ大根がすごく美味しく出来たの」

ママも嬉しそうにパパから預かったスーツの上着をハンガーに掛けてあげた。

「おっブリ大根いいね寒い日にあうねえ」

「パパはそういうだろうなって思ってた熱燗用の日本酒も用意してるわよ」

「おお！」

パパすっごく嬉しそう。

お酒が大好きなパパはお外ではほとんど飲まなくてママのお酌で飲むのが最高っていつも言ってる。

パパはママが大好きなんだろうなあ。

きつとそれは魔法なんか使ったからじゃなくて

二人の長い時間を大事にしてきたから。

そしてママもきつと同じ。

（やっぱり恋人って魔法で手に入れるものじゃないんだなあ）

さつき恋人欲しいなんて魔法で願わなくて良かった。

パパがいつもより早く帰ってきてくれてママの料理が美味しい。そして大好きなフルーツタルトが売り切れてなかった。

きつとコレくらいの幸せが丁度いいのかな？

（ね、魔法使いさん。ありがとねっ）

私はカーテンを開けて暗い夜空を見上げて

今日、下校途中に鴉に襲われているところを助けた

魔法使いを名乗る喋る子猫ちゃんを思い浮かべてみた。

白くてふわふわな子猫ちゃん。

黙っていればすごく可愛いのに話す日本語は何だか関西弁だし声はオジサンみたいで笑っちゃった。

ちゃんと魔法使いの世界に帰れたかなあ？

「あ、雪！！！」

ふわりふわりと白い綿毛が空から降ってきた。

今年の初雪。

明日は学校で雪合戦出来るかな？

「あら雪？よかったわね、パパ帰って来た後で」

ママは穏やかな笑顔で言う。

「そうだね、運が良かったね」

やっぱりこれくらいの「幸せ」がちょうどいいかな。

（後書き）

きつと魔法が使えても願うことなんて初詣と同じレベルなんだろう
なってトコから書きました。

え？魔法っぱくはないですか！？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3692b/>

優しい時間

2010年12月18日21時15分発行